描いた未来が、
誰かの今日になる。

勉強が苦手な、小学生
独りで暮らす、おばぁちゃん
都会での夢を諦め、家業を継いだ若手農家

豊橋市役所の自己推薦試験は

公務員試験対策不要

2017　豊橋市職員採用案内

豊橋市の仕事

“市民を支える”ということ
“未来を描く”ということ

豊橋市役所の仕事は、生活に関わるあらゆるフィールドで、市民のみなさんを支え、社会の土台を築いていくこと。

豊橋市は平成32年度を目標年次とした豊橋市総合計画の中で目指すまちの姿を「輝き支えあう水と緑のまち・豊橋」と定め、市政運営を行っています。5年後、10年後の豊橋を描き、幅広い分野で様々な政策を計画し、実行しています。

地方の時代を迎え、豊橋らしいまちづくりが求められていますが、そこで必要になるのが職員のセンスと行動力。豊橋を豊橋市民のために、豊橋らしく発展させることが我々職員の使命です。

豊橋市のフィールド

挑戦できるチャンスがある。熱くなれる場所がある。
豊橋市役所だからできる仕事がある。

豊橋市役所は、環境、産業、福祉、教育、文化、都市計画など様々な分野を扱う約20の部局、90以上の課（室）に分かれており、一つの大きなグループ企業とも言えます。

仕事のスタイルも多種多様。法律を読み解くこと、条例を制定することはもちろん、窓口応対や地域での住民説明、事業の企画立案やイベント運営、PRのための全国各地や海外での営業活動など…

人事異動により、様々な分野に身を置き、様々な業務に挑戦することで、幅広い視野を獲得し、自分自身の成長を実感することができます。

市長	防災危機管理課	防災知識の普及・啓発、地域防災計画策定など
	総務部	条例の制定、文書、情報公開、統計調査、人材育成、行政情報システム運用管理など
	財務部	予算・決算、ファシリティマネジメント、市県民税の課税、滞納整理、債権管理など
	企画部	総合計画の策定、広域連携、広報、シティプロモーションなど
	文化市民部	住民登録、文化活動支援、消費生活相談、市民協働の推進、多文化共生の推進など
	福祉部	地域福祉の推進、国民健康保険、介護保険、障害者福祉、生活困窮者支援など
	こども未来部	児童手当、児童相談、子育て支援、青少年健全育成、児童クラブ運営など
副市長	健康部	保健統計、保健衛生、健康増進、食品衛生、食肉衛生検査、こども発達センター運営など
	環境部	環境保全、温暖化対策、ごみ収集、資源化センター、廃棄物対策など
	産業部	商工業振興、農業支援・振興、観光、港湾活性、農地整備、競輪事業など
	建設部	道路の新設・維持・改良、橋梁の改築・修繕、河川整備、建築審査など
	都市計画部	都市計画、公共交通、中心市街地活性化、公園の整備・維持管理、区画整理など
	総合動植物公園部	動植物公園・自然史博物館の運営など
	会計課	公金の収入・支出、資金運用など
	市民病院	市民病院の運営
水道及び下水道事業管理者	上下水道局	水道の供給、給排水施設の維持管理、下水道の整備など
消防長	消防本部	警防、救急、防火など
教育委員会	教育部	教育政策、就学援助、学校施設の整備、生涯学習、スポーツ事業、図書館運営など
監査委員会	事務局	監査・審査に関すること
選挙管理委員会	事務局	選挙事務の管理、執行など
農業委員会	事務局	農地に関すること、農家・農事相談など
市議会	議会事務局	市議会の開催、議会運営など

豊橋市の主な取組

◉活力と魅力にあふれるまちづくり

《産業･交流》分野

手筒花火を活用した
広域的な観光PR

三河港ロジスティクス戦略の推進

- 次世代型施設園芸（植物工場）の普及促進
- 農産物の海外販売戦略の推進
- 広域連携による企業誘致活動の推進　　など

◉健やかに暮らせるまちづくり

《保健･医療･福祉》分野

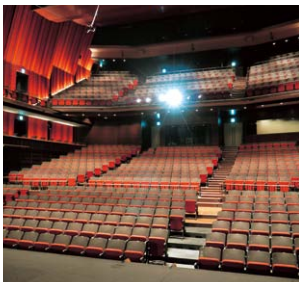
子育てサークルの育成･支援

高齢者の健康･
生きがいづくりの推進

- 健康のまちづくりの推進
- 障害者の就労支援の促進
- 市民病院放射線治療施設等の整備　　など

◉心豊かな人を育てるまちづくり

《教育･文化》分野



穂の国とよはし芸術劇場
「プラット」の活用

多文化共生コーディネーターの養成

- 市民活動団体への支援
- 住みよい暮らしづくり計画の作成･推進支援
- 地域スポーツ活動の推進　　など

◉環境を大切にするまちづくり

《環境保全》分野

太陽光発電の導入促進

クリーンエネルギー自動車の
導入促進

- 路面電車の軌道緑化
- 木質燃料の利用促進
- 公有地緑化の推進　　など

◉安心して暮らせるまちづくり

《防災･消防･安全･衛生》分野

防災まちづくりモデル
校区事業の推進

消防･救急救命体制の整備

- 自主防犯団体への支援･参加促進
- 自主防災組織への支援
- 自転車マナーの啓発　　など

◉快適で利便性の高いまちづくり

《社会基盤》分野

「地域生活」バス･タクシー事業の推進

自転車通行空間の整備

- とよはしエコ通勤実践運動の推進
- 中心市街地の環境整備
- バイオマス資源利活用の推進　　など

豊橋市の職員

事務職　いわゆる“総合職”として、様々な部署に配属され、様々なまちづくりに携わります。

山口　博紀
（福祉部／福祉政策課H18採用）

山口さんのある1日

6:00 ▶ 起床
8:00 ▶ 出勤、メール・スケジュールの確認
8:30 ▶ 朝礼
9:00 ▶ 計画の構成について打ち合わせ
9:30 ▶ 計画の内容調整
10:00 ▶ 出前講座
12:00 ▶ 課内で昼食
13:00 ▶ 計画策定にかかる担当課へのヒアリング
15:00 ▶ 資料作成
16:30 ▶ 計画の作業進捗について上司へ報告
17:30 ▶ 明日のスケジュールを確認、退庁

▶これまでのキャリア
平成18年度に入庁し、消防本部総務課への1年間の出向を経て国保年金課で5年間勤務。平成24年度より福祉政策課

豊橋市役所を選んだ理由

私の出身は豊橋市の隣町ですが、幼いころから豊橋市も地元という感覚を持っていました。高校時代に豊橋のまちなかを訪れた際、商店街がかつての活気を失い、寂しい街になっていると感じたことから、まちづくりや都市をつくっている仕組みに興味を持つとともに、将来は豊橋発展の力になりたいと思いました。

また、就職活動をしていた時期、豊橋市は市制施行100周年を迎える時期で、今後の100年に向けて大きく展開していく豊橋のまちづくりに自分も携わりたいと思い、豊橋市役所を志望しました。

現在の業務・やりがい

現在所属する福祉政策課では、住民相互の支え合い、助け合いによる福祉活動を推進するため「第3期豊橋市地域福祉計画」の策定事務を主に担当しています。全国的に少子高齢化や核家族化が進行する中、豊橋市では、ひとり暮らし高齢者の増加や、地域コミュニティの希薄化などが問題となっています。これらの問題への対応として、公的な福祉サービスに加え、身近な地域での見守り・声かけといった住民主体の取組みを推進し、住民と行政の協働による福祉活動を展開していく必要があります。そのため、計画策定にあたっては、市民やボランティア団体の皆様に対してアンケートを実施し、外部の専門家の意見を聞くなど、常に市民の視点を大切にしながら作業を進めています。

また、市民の皆様に福祉の重要性や必要性を知ってもらうため、福祉イベントである「いきいきフェスタ」を開催したり、次世代の福祉の担い手である子どもたちを対象に、福祉意識の啓発も行っています。

「ありがとう」、「とても勉強になりました」、イベントや講座の参加者からこのような言葉をかけられたとき、大きな喜びと市役所職員としてのやりがいを感じます。今後も豊橋市職員としてどう取り組んでいくべきか、しっかり考えて行動し、市民サービスの向上に努めていきたいと思います。

塩野　真由
（教育部／生涯学習課H23採用）

塩野さんのある1日

6:30 ▶ 起床
8:20 ▶ 出勤　スケジュール確認
8:30 ▶ 朝礼　メールチェック
10:30 ▶ 生涯学習関係講座開催のための資料作成
12:00 ▶ 課内で昼食
13:00 ▶ 会議での伝達事項の再確認
13:30 ▶ 地区市民館長との会議
16:00 ▶ 会議で上がった問題事項の確認、整理
16:30 ▶ 議事録作成
18:00 ▶ 退庁

▶これまでのキャリア
平成23年度に入庁し、二川本陣資料館で半年間勤務した後、同年10月より生涯学習課。

豊橋市役所を選んだ理由

地元である豊橋市で自分が役に立てることはないのか、進路に悩んでいた大学3年生の夏、豊橋市役所のインターンシップに参加したことで市役所の仕事に魅力を感じ、豊橋市役所を志望しました。

現在の業務・やりがい

主に、生涯学習活動の拠点施設である地区市民館（公民館）の運営に関すること、「市民大学トラム」をはじめ生涯学習関係講座や家庭教育関係講座等の担当をしています。

生涯学習課では、ライフステージに応じた生涯学習活動を支援するため、幅広い分野の講座や事業を展開しています。市民の皆さんの学びたい、もしくは教えたいというニーズを踏まえると共に、“教育の面から、地域づくりや人づくりを通して、住みよいまちづくりを行う”という行政が講座を実施する意義を常に意識しながら、日々の業務に取り組んでいます。

実際に講座に立ち会い、市民の皆さんの「ありがとう」「また参加したい」の声を聞けた時はもちろん、講座や事業の参加をきっかけに、その後の自主的な活動へ結び付いたとの話を聞いた時は、特に喜びとやりがいを感じることができます。また、様々な知識や特技を持った方々と話す機会があることは、自分自身の成長にも繋がっていると感じています。

平成28年度は市制110周年となることを契機に、豊橋市に関することを楽しく学ぶことができる講座を地区市民館にて開催します。興味のある方は是非参加してみてください！

新規採用職員

新規採用職員といえども、先輩職員と同様に担当業務が割り振られ、様々な経験を積んでいきます

西川 トオル
（環境部／廃棄物対策課H27採用）

西川さんのある1日

6:30 ▶ 起床
8:00 ▶ 出勤、業務の予定を確認
8:30 ▶ 朝礼、メールチェック
予算資料作成
10:00 ▶ 事業者向けガイドブック作成について、ワーキンググループ打合せ
12:00 ▶ 課内で昼食
13:00 ▶ 不法投棄の通報に基づき現場確認
15:30 ▶ 報告書などの書類作成
16:30 ▶ メールチェック、委託料支払いに関する書類作成
17:30 ▶ 退庁

豊橋市役所を選んだ理由

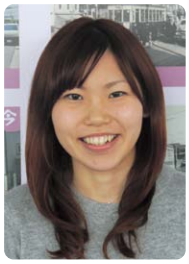
私は大学進学と同時に初めて豊橋を離れました。帰省するたびに豊橋への懐かしさや愛着を感じていましたが、市外の友人に豊橋について聞かれたとき、豊橋はどんな町で、どんな良さがあるのか答えることができませんでした。豊橋について何も紹介できない、愛着はあっても何も知らない、そんな自分がかっこ悪く感じました。そこで豊橋市職員として、直接豊橋のまちづくりに関わっていくことで、まずは自分が豊橋の良さを知り、豊橋を好きでいたいと思いました。そして、それを市民の方と分かち合い、市外の人にも知ってもらう、その窓口の1人になりたいと思ったのがきっかけでした。

現在の業務・やりがい

廃棄物対策課の主な業務には、ごみを排出する市民や事業者の方に対して適正にごみを処理してもらうよう指導や対策をすること、民間の処理業者に業の許可を出すことなどがあります。私はその中で、不法投棄対策や事業系ごみの不適正処理の対策などを行っています。

具体的には、不法投棄多発地域に監視カメラや看板を設置したり、民間の警備会社に市内のパトロールを委託しています。設置する看板は、毎年課内会議の中でデザインを決定しますが、意見を出し合う中で自分のアイデアが生かされ、形となって市の事業として取り入れられることはとても面白くやりがいを感じます。事業系ごみについては、環境部内のワーキンググループに参加し、ごみの適正処理に向けて議論を交わしています。

ごみの問題について困っている方は多くいるのですが、そこに市職員として、お手伝いできることがたくさんあります。ごみを片付けるという、当たり前のルールをきちんと整理し、多くの方に知っていただくよう努めていくことで、きれいで暮らしやすいまちを作っていきたいと思います。



大河 由依
（財務部／市民税課H27採用）

大河さんのある1日

6:30 ▶ 起床
8:00 ▶ 出勤
8:30 ▶ 朝礼　メールチェック
10:00 ▶ 申告の受付
12:00 ▶ 先輩、同期と昼食
13:00 ▶ 課税資料の入力
14:00 ▶ 市民税の通知書発送の準備
15:30 ▶ 会社へ市県民税額の連絡
18:00 ▶ 退庁

豊橋市役所を選んだ理由

私は豊橋で生まれ育ち、豊橋市が変化していく様子を肌で感じてきました。就職を考える際、自分がやりたいことは、愛着のある豊橋をより住みよい街にしていくことだと思うようになりました。また、地域活性をはじめ、社会福祉や税務など様々な業務に携わり、市民の方を総合的にサポートできるという点も豊橋市役所を志望した理由の一つです。

現在の業務・やりがい

市民税課では、市民の方の豊かな暮らしに欠かすことのできない市税の賦課を行っています。その中で私は個人市民税グループに所属し、市民の方の申告の受付や、個人市民税の税額の決定・通知を主に担当しています。豊橋の財政の半分を占める市税を扱う仕事なので、重要な財源を担っているという使命感を持ちながら日々業務に取り組んでいます。また、窓口や電話で市民の方と関わる機会も多く、市民の方の世帯や所得状況を伺いながら、公平・公正な課税を心掛けています。

市民税課で取り扱う所得状況等は、他の課でも使用されるため、市民の方の生活に直接大きく関わってきます。申告を受け付ける際は、申告される方の話をよく聞いて、申告漏れのないように努めています。自分の市・県民税がどういう計算で課税され、どういう方法で納めるのかを丁寧に説明し、「ありがとう」という言葉をいただいた時は、とてもやりがいを感じます。多くの税の知識と正確さが求められますが、勉強や経験を積み重ね、税のスペシャリストとなれるように努力していきたいです。

技術職（土木）　道路や上下水道、公園整備など、市民の安全で快適な暮らしを支え、豊橋の基盤づくりに幅広く従事します

山田　哲也
（建設部／道路建設課H27採用）

山田さんのある1日

5:30 ▶ 起床
7:30 ▶ 出勤　新聞チェック
8:30 ▶ 朝礼　メールチェック
9:00 ▶ 施工業者と打ち合わせ
10:00 ▶ 井原橋 塗装工事現場立会
進捗状況確認、指示
12:00 ▶ 課内で昼食
13:00 ▶ 細谷11号橋 橋面防水工事
現場説明、測量
16:00 ▶ 今後実施予定の工事設計書作成
17:30 ▶ 退庁

豊橋市役所を選んだ理由

私は大学で土木構造について勉強、研究をしてきました。今後発生し得る大規模災害について学ぶなかで、豊橋市は東海・東南海地震の想定震源域の近くということもあり、様々な防災対策の必要性を感じました。そこで豊橋市で土木の面から安心して暮らせるまちづくりに貢献したいと強く思うようになり、豊橋市職員を志望しました。

現在の業務・やりがい

道路建設課は、道路の新設・改良工事や、橋梁の改築・修繕、広域幹線道路の整備促進事業などを行っています。私はその中で橋梁グループに所属しており、老朽化した橋梁を長寿命化させるための塗装工事や舗装工事などの監督が主な担当業務となっています。また、普段から橋梁の劣化状況を把握するため、市内各所の橋梁点検をしています。
これらの業務は日常的に道路橋を使用する市民の方々の暮らしに深く関わっているので、自分の業務の重要性を日々感じています。工事の監督業務を行うなかで問題にぶつかることもありますが、美しくなった橋梁が市民の方々に利用してもらえることをやりがいにして業務に取り組んでいます。

市役所では、他にもいろいろな職種の職員が、活躍しています。

保育士（保育課）

保健師（保健所、長寿介護課など）

獣医師（動植物公園、保健所）

薬剤師（保健所）

管理栄養士
（保育課、総合老人ホームなど）

学芸員
（自然史博物館、美術博物館、科学教育センターなど）

消防職（消防本部・消防署）

動物飼育員（動植物公園）

清掃作業員（業務課）

求める人材

“市民を支える”ということ

～困難なことでも挑戦できる～

豊橋市民にどれだけ貢献できるか、我々市職員に課せられるノルマです。市民全体への奉仕者としてのプライドを持ち、熱い情熱のもと挑戦していく姿勢が求められます。

そのため、人の気持ちを考えて行動し、困難な場面でも粘り強く挑戦し続けている方を求めます。

“未来を描く”ということ

～自ら考え、行動できる～

我々市職員には、確実な事務能力だけでなく、広い視野を持ち、自ら主体的に考え、意欲を持って行動する姿勢が求められます。

そのため、普段から様々なことに関心を持ち、自らの意思で積極的にチャレンジし続けている方を求めます。

採用試験

自己推薦

一般的な公務員試験ではなく、民間企業で多く用いられている能力検査を行います。特別な試験対策をしていなくても、その分他に取り組んだことや人には負けない能力などとともに熱い思いをアピールしていただきます。

- 申込書配布開始 5月
- 1次試験 5月～6月：個人面接／自己PRシート／基礎能力検査
- 2次試験 7月：個人面接／集団討論／適性検査
- 3次試験 8月：個人面接

一　般

1次試験で公務員試験と呼ばれる筆記試験を行います。これまでの試験対策の結果を発揮していただくとともに、面接等でみなさんの思いや情熱をアピールしていただきます。

- 申込書配布開始 6月
- 1次試験 7月：個人面接／教養試験／専門試験（技術・専門職）／体力測定（消防）
- 2次試験 8月：個人面接／集団討論／適性検査／実技（保育士）
- 3次試験 9月：個人面接

試験申込書入手方法

◉配布場所

●豊橋市役所／●豊橋市内各窓口センター／●豊橋市首都圏活動センター（千代田区平河町）など

◉郵送で入手する場合

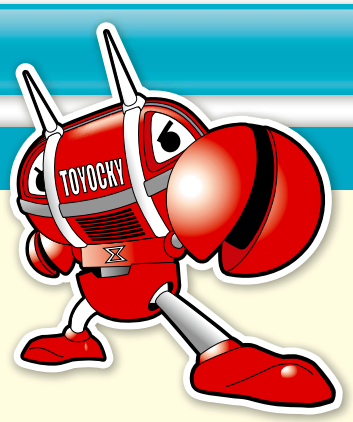
封筒の表に受験を希望する試験区分名と「試験申込書請求」を朱書きして、返信用封筒（送付先の郵便番号、住所、氏名を記載し、140円切手を貼付した角2封筒）を同封し、豊橋市役所人事課宛に請求してください。往復の郵便日数を考慮し、余裕を持って請求してください。

◉ホームページからダウンロードする場合

豊橋市役所採用ホームページからダウンロードして使用することができます。

HP●http://www.city.toyohashi.lg.jp/6760.htm　（裏面QRコード参照）

人事制度



勤務条件

●初任給（地域手当含む）27.4.1現在

- ●大学院修了　201,240円
- ●大学卒　188,032円
- ●短大卒　167,128円

◉手当

住居手当　家賃の額に応じて最高27,000円まで支給

※これ以外に通勤手当、時間外勤務手当、扶養手当など、各種手当などが支給されます。

●期末･勤勉手当（ボーナス）

年2回（6月、12月）

●昇給

年1回

●勤務時間

午前8時30分～午後5時15分

※勤務場所により異なる場合があります。

●休日

土･日･祝日･年末年始

※動植物公園や図書館など、一部の職場では土･日、祝日や年末年始が勤務日となり、4週間当たり8日の週休日が割り振られます。また、どの職場でも土･日、祝日や夜間に行事やイベント、地元説明会、選挙、災害対応等の業務を行う場合があります。

●休暇

年次有給休暇が1年度につき20日。このほか、夏季休暇、婚姻休暇、産前産後休暇等の特別休暇や、育児休業制度、部分休業制度等があります。※女性の育児休業取得率100%

福利厚生

●健康管理

定期健康診断、人間ドック受診、健康相談の実施とともに、所属対抗のスポーツ大会（ボウリング、ソフトバレーボール等）を開催するなど、職員の健康増進に努めています。

●貸付制度

住宅貸付などの各種貸付事業や給付事業を行っています。

●クラブ活動

野球、サッカー、テニス、陸上など自主的かつ定期的に活動しているクラブがあります。

配属･異動

本人の意向やキャリア観を重視するとともに、能力･実績に基づいた適材適所の人事配置を基本としています。また、採用から概ね10年までに3箇所位の異なった分野の配置換えを行い、行政の基本的な知識･技術を習得するためのジョブローテーションを行っています。

研修

●階層別研修

採用時や昇任時に行う研修で、階層や職位ごとに必要となる知識や能力を身につけます。

●選択型研修

政策形成やコミュニケーションなど、8講座のメニューが用意されており、身につけたい能力、伸ばしたい能力など、自ら選択し受講します。

●派遣研修

高度で専門的な知識や能力を習得するために、各種機関へ職員を派遣しています。国、県、他市、民間企業等への派遣（1～2年）から研修機関への派遣（3日程度）まで、様々なコースがあります。

●自己啓発

自ら学ぶ意欲に応えるため、通信教育講座や自己啓発受講に対する補助金や職務免除などの制度があります。

豊橋市の花●つつじ

問い合わせ先

豊橋市役所総務部人事課（採用担当）
TEL●（0532）51-2050
E-mail●jinji@city.toyohashi.lg.jp
HP●http://www.city.toyohashi.lg.jp/6760.htm

消防職員に関する問い合わせ先

豊橋市消防本部総務課（人事教養担当）
TEL●（0532）51-3107
E-mail●shobo-somu@city.toyohashi.lg.jp
HP●http://www.city.toyohashi.lg.jp/9039.htm